



## 1 地域に大学校をアピール!



オープンキャンパスに参加したスタッフ



小学生にプログラムを教える学生

オープンキャンパスがイオンモール土浦で3月1日(日)に開催され、気軽に楽しくITを体験できる5つのブース(①ホワイトハッカーへの挑戦状、②プロジェクトマッピング、③ロボット・プログラミング、④VRでキャンパスツアー、⑤AIとジャンケン)を設置しました。

担当したのは2年生10人(基本情報技術者)で、地域に大学校をアピールしたいと、約2か月かけて準備したものです。

開催当日は、延べ94名が楽しく体験していました。ロボットを担当した高木皓貴さん(水戸啓明高卒)は、「沢山の小学生が、楽しくプログラムを作りロボットを動かしていました」と、VRを担当した廣木優香さん(水戸

三高卒)は「新校舎を見て頂き、皆様に喜んで頂きました」と嬉しそうに話していました。

ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。

↑来場者記録表



来場者に対応する学生達



VR体験を案内する学生

## 2 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事トレ＞茨城新聞(2026年2月15日)  
**リスキリングに理解**  
水戸でシンポ 優良事例を紹介

### ●松倉洋輝さん(緑岡高卒)

◇要約:茨城県はリスキリング推進シンポジウムを開催した。大井川知事は、学び直しが企業の離職防止や個人の可能性を広げる重要性を強調した。

また、先進的な取り組みを行う県内企業の表彰も行われた。

◇感想:学び直しを単なる義務とせず、芸人の古坂氏の言葉にあるように、楽しい勉強と捉える視点が新鮮だった。

AI時代に負けない能力を磨く場を企業が提供することは、結果的に社員の定着と成長に繋がっていくと強く感じた。

### ●伊藤大晃さん(鹿島高卒)

◇感想:人手不足やデジタル化が進展する中、リスキリングの重要性を改めて感じた。リスキリングに積極的に取り組む優良企業の授賞式も行われた。

地域の人材育成のために、県が支援していく姿勢に心強さを感じました。

### ●浅井佑一さん(水戸平成学園高卒)

◇感想:この記事で、デジタル化などの環境の変化に対応するためにリスキリングを進める企業があることを知った。

急速に進展する社会において、新しい知識が大切になると感じる。そのためにリスキリングの機会を与えてくれる企業に就職したいと考えた。

### ●高橋京汰さん(日立工高卒)

◇感想:これからの時代、技術の進歩が目覚ましく、何もしないと置いていかれてしまうだろう。その差を埋めるためにもリスキリングを、県が推進することは県民にとっても喜ばしいことだと思う。

個人のレベルアップが国の景気を良くする大きな要因となりえるので頑張りたい。

### ●村澤伸哉さん(勝田工高卒)

◇感想:シンポジウムの記事を読み、リスキリングはスキルアップに重要だと認識した。AI時代において、自ら主体的にスキルを更新し続けることの重要性を改めて実感した。ITエンジニアは、学び直し学び続けることが大切だと思うので実践していきたい。

